

かわぐち

2007. 8月号 No.406

今月の主な内容

- 中越沖地震被災地を支援……………2
- 震災復興「おかげ様感謝デー」
実行委員会でイベント企画案を作成…3
- 町制施行50周年
かわぐち50年の歩み……………4~7
- 中越大震災義援金第4次配分……………8
- 10月1日から緊急地震速報の
情報が提供開始に……………9

ほか



黄色のバス、みんなの足に

— 新たな循環バス運行開始 —

7月2日、10人乗りワゴンによる新たな循環バスの運行を開始しました。当日は木沢から8人が乗車したほか、1日で32人（2台分）の利用がありました。

車体の色は黄色で、遠くからでも確認することができます。買い物や通勤、町で実施している健康教室など生活の足としてお気軽にご利用ください。



かわぐち いきいきびと

和紙工房 おりづるの会

平成9年から活動を始め、友禅和紙などを使ったしおりや紙人形などの和紙工芸を制作しています。作品は川口温泉やあぐりの里をはじめ、新潟市ユニゾンプラザ内の福祉の店「パレット」でも販売しています。

メンバーがひとつひとつ心を込めて折っているので、温かさが伝わってきます。色鮮やかな和紙工芸をぜひ、一度手にとってみてください。海外出張やホームステイなどのプレゼントにしても利用されています。



震災の支援の感謝を込めて

内藤 フミ子



震災前のメンバーは20人で、平成14年のサッカーワールドカップには、ビッグスワンに出店するなど、幅広く活動していました。しかし震災で工房にしていた自宅が被害を受けて使用できなくなり、町外に出たメンバーもいて会の活動をしばらくの間、休止しました。

昨年、やっと自宅の修理が完成したので、メンバーに声を掛け、12月から会の活動を再開しました。現在はメンバーも少しずつ戻り9人になりました。

震災では多くの方から支援をいただき、いつかお礼をしたいと思っていましたが、10月に町で「おかげ様感謝デー」が行われることを知り、この時期に1000枚の「人形しおり」を全国の皆様に贈ることにしました。

現在、毎週、メンバーが集まって「人形しおり」を折っています。ひとつひとつ「ありがとう」の気持ちを込めながら…

これからも感謝の気持ちをもって、メンバーと楽しく和紙工芸を作っていければと思っています。

応援サポーター

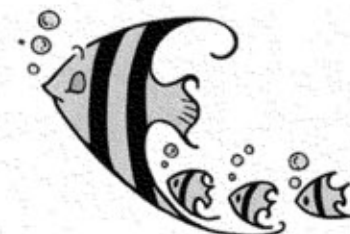
銘菓
川口あおり太鼓
いおの
川口小唄

御菓子司
龍昇堂

TEL 0258-89-2039 FAX 0258-89-2312
北魚沼郡川口町大字川口 1954-3

○広報かわぐちの広告の規格など

- 規 格 枠サイズ 縦45mm×横84mm
刷り色 黒
- 掲載期間 1号単位で、最長12号連続掲載できます。(なお、広告枠に空きがある場合は、更新できます。)
- 掲載料 1号 5,000円以上
- 掲載枠数 最大4枠
- 申込締切 毎月15日
- 問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112





▲実行委員が企画をピックアップ

全国の皆さんに町民あげて感謝の気持ちを伝える震災復興「おかげ様感謝デー」の実行委員会が7月9日、24日に行われ、実施事業の企画案を作成しました。

実行委員会イベント企画案を作成

全国の皆さんに「ありがとう」と

被災地に「がんばろう」の気持ちを伝えたい

震災復興「おかげ様感謝デー」

中越沖地震の被災地への配慮について話し合う

第3回実行委員会では中越沖地震による被災地に配慮して「おかげ様感謝デー」をどのように実施するかについて意見交換を行いました。

委員からは、「感謝デーで全国に川口町が3年でこまめに復興したという姿をアピールするとともに、被災地にがんばろうというエールを送れるようなイベントを実施しよう」などの意見が出て、感謝デーのイベント企画の立案では「感謝と激励」を表現していくことになりました。



▲各班に分かれて企画案の作成

アイデアを出し合って

感謝と激励を伝える企画に

第2回、第3回の実行委員会では、第1回実行委員会で作られたアイデアの中から実行委員が進めたい企画をそれぞれピックアップしました。

このピックアップされた企画は5つで、実行委員はそれぞれ班に分かれて企画についてのアイデアを出し合い企画案を作成しました。実行委員会では8月上旬に全ての企画案を完成させ、その後実施事業を決定する予定です。

問い合わせ 震災復興「おかげ様感謝デー」実行委員会 (事務局 総務課)

☎ 89-3111

震災復興「おかげ様感謝デー」

震災から3周年の節目に、町の復興に関わった全国の震災支援者に「感謝の思い」を伝え、町民が復興に向かって進んでいる元気な姿を広く発信するものです。

実施期間は10月13日～22日までの10日間を予定しています。

一日も早い復旧を願って 中越沖地震被災地を支援

7月16日に発生した中越沖地震の被災地では、家屋が倒壊し、ライフラインが途絶え多くの方が避難所で生活しています。当町では被災地に職員や町内の土木・管工事業者を順次、派遣するなど被災された市町村を全面的に支援していきます。また今回の支援では町建設業協会のご協力をいただきました。



給水車による給水支援 (出雲崎町にて)

中越沖地震の発生から被災地の各市町村の応援要請等に応じて職員などを派遣しています。7月27日までの支援状況は次のとおりです。なお、町では今後も被災地の早期復旧のために、支援をしていきます。

支援状況 (7月27日現在)

- 出雲崎町**
 - 応急給水 7月16日～18日 給水車による避難所での給水支援と支援資材の提供
 - 家屋調査 7月25日 被災証明発行のための家屋の被害調査
 - 柏崎市**
 - 緊急用トイレの提供 7月16日
 - 都市ガス復旧作業

- 7月18日～20日 ガスの閉栓作業
- 保健師の派遣 7月19日～21日 避難所の健康相談や健康管理、衛生管理。避難生活者に手洗いや食中毒への注意の呼びかけなど
- 水道復旧工事 7月20日～27日 破損した水道本管の修繕工事



水道復旧工事



ガス閉栓作業

刈羽村

- 保健師の派遣 7月20日～22日 避難所の健康相談や健康管理、衛生管理。避難生活者に手洗いや食中毒への注意の呼びかけなど
- 無料温泉招待 7月18日 柏崎市、出雲崎町、刈羽村の被災者をえちご川口温泉に無料招待

- 仮設住宅入居受付 7月26日 仮設住宅の入居希望者の相談や申請の受け付け
- 避難所・物資対応 (7月28日)

被災者支援ボランティアを募集します
町社会福祉協議会と町の協同で中越沖地震の被災者支援ボランティアを募集します。
派遣日程 8月6日(月)～9日(木)
問い合わせ 町社会福祉協議会 ☎ 89-3117

町制施行50周年

歴史を重ねて半世紀

かわぐちのあゆみ

(※月別不明)



町制施行時の街並み (昭和32年)

昭和32年	8月	川口町町制施行(8・1)
昭和32年	9月	初代町長に関口淳治氏就任(9・21)
昭和33年	※	田麦山油田深鉱
昭和33年	4月	小高簡易水道が認可、給水を開始
昭和33年	6月	和南津簡易水道が認可、給水を開始
昭和33年	9月	台風21号により信濃川・魚野川が氾濫し、東川口及び西川口の低部に浸水、大きな被害が発生(9・18)
昭和34年	4月	町長に大淵鉄太郎氏就任
昭和34年	9月	田麦山試掘油田において噴出した良質の天然ガスを原料とする町営ガス事業について通商産業局の認可を受ける
昭和35年	3月	※
昭和36年	3月	東川口・西川口の一部にガスの供給を開始
昭和36年	3月	川口小学校の校舎の建設に着手。三力年計画で川口小学校統合。
昭和38年	9月	台風18号で大きな被害が発生。家屋の全半壊110戸など被害を受けた家屋は約1千戸(9・16)
昭和38年	4月	町長に関口淳治氏就任
昭和39年	1月	積雪4mを超える豪雪で交通もマヒ状態。2月9日から14日間青森県八戸市に駐屯する陸上自衛隊130名が来町
昭和41年	10月	町営ガス、田麦山、中山、和南津地区に拡張、供給開始
昭和41年	7月	上越線複線化工事により川合神社御社殿を移築、竣工
昭和41年	11月	東部保育所(現東川口保育園)が初の認可施設として開所

昭和42年	4月	町長に星野輝政氏就任
昭和42年	7月	町制施行10周年記念式典挙行(7・20)
昭和42年	9月	共同調理で学校給食を開始
昭和43年	10月	町制10周年記念に町章を制定
昭和43年	4月	町消防団が救急業務を開始
昭和43年	10月	川口・田麦山農協の合併が決まる。昭和44年3月に合併
昭和44年	4月	在宅ねたがり老人等を世話する老人家庭奉仕員を設置
昭和44年	4月	町内全世帯を会員とする社会福祉協議会が設立
昭和45年	4月	県蚕業試験場が大字相川地区内に完成
昭和46年	11月	田麦山に児童館建設。田麦山保育所として開設
昭和46年	4月	町営ガスが相川地区まで拡張、供給開始
昭和47年	4月	川西神社前に西川口保育園を開設
昭和48年	3月	広報かわぐち第1号発行
昭和48年	3月	和南津小学校閉校。90年の歴史を閉じ川口小学校へ統合
昭和49年	4月	社会福祉協議会法人組織に
昭和49年	10月	768年の歴史に終止符。山ノ相川集落移転。10月24日集落移転式と山ノ相川分校閉校式を挙行
昭和49年	3月	上川地区・川口原新田・南原・和南津の各土地改良区が合併し、新たに川口町土地改良区として土地改良事業推進体制が確立
昭和49年	4月	昭和30年5月に開設された国保直営診療所を廃止
昭和49年	4月	川口町体育協会発足

8月1日、昭和32年の町制施行から50年を迎えました。半世紀の歴史を積み重ねてきた川口町。中越大震災という未曾有の災害を経験するなど激動の時代を歩んできました。先人が築いてきた町の歴史を振り返り、よりよい未来に向かって進んでいきたいと思います。



信濃川・魚野川が氾濫し大洪水に (昭和33年)



町制10周年記念の万灯行列 (昭和42年)



山ノ相川集落移転・山ノ相川分校閉校式 (昭和48年)

昭和50年	1月	川口中学校が交通安全優良校として全国交通安全協会を受賞
昭和50年	6月	西倉橋竣工。全長310m、幅員7.5m
昭和50年	8月	小千谷市・川口町衛生組合が七曲に一般廃棄物(不燃物)処理場を設置(埋立開始)
昭和51年	5月	統合中学校完成。川口、田麦山、木沢の町内三中学校を統合
昭和51年	6月	小千谷地区交通安全協会川口支部と田麦山支部が合併し、川口町交通安全協会として発足
昭和51年	11月	小千谷市・川口町衛生組合し尿処理場衛生センター「清流園」竣工
昭和52年	8月	荒谷トンネル開通
昭和52年	10月	牛ヶ島地区内に基ガス供給所球型ガスホルダー建設
昭和53年	3月	東部保育所移転改築
昭和53年	6月	6・26梅雨前線豪雨災害発生。被災箇所270件、被害総額7億5千万円。激甚災害に指定された老人憩の家「末広荘」開設
昭和54年	10月	町長に青柳弘氏就任
昭和54年	12月	消防業務、小千谷市と一部事務組合発足、消防が常備化される。名称を小千谷市・川口町衛生消防組合に
昭和54年	6月	町営ガス八郎場地区拡張、供給開始
昭和54年	10月	役場庁舎、現在地に移転新築
昭和54年	11月	児童館保育を解消、田麦山保育所完成
昭和54年	3月	田麦山簡易水道増補改良工事完成
昭和54年	4月	小千谷地域消防署川口出張所完成
昭和54年	7月	町立図書館開館
昭和56年	8月	総合運動公園完成(公園面積30万㎡)。スポーツの町宣言(8・27)
昭和56年	1月	56豪雪(災害救助法適用)
昭和56年	5月	小高土砂崩壊災害発生7世帯帯45人が被災(5・14)
昭和56年	8月	台風15号豪雨水害発生(8・23)
昭和56年	9月	西倉遺跡発掘調査
昭和56年	10月	町営ガス、小高地区に拡張、供給開始
昭和56年	12月	西倉簡易水道完成、給水開始
昭和57年	3月	関越自動車道川口〜長岡間開通
昭和57年	10月	町内初の県営住宅「あけぼの団地」完成
昭和57年	12月	運動公園に川口農村教育文化体育施設(体育館)完成
昭和57年	12月	関越自動車道川口〜小出間開通
昭和58年	4月	上川保育所完成
昭和58年	12月	木沢小学校新築

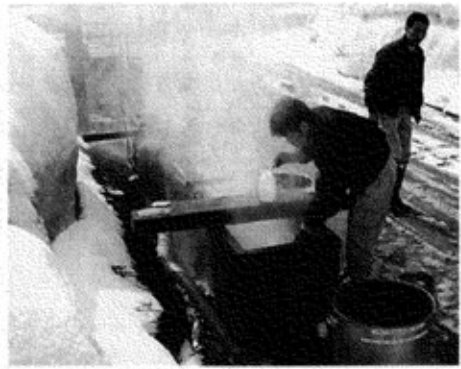
昭和59年	9月	学校給食センター完成
昭和59年	12月	田麦山小学校新築
昭和60年	3月	東部簡易水道取水・浄水施設改良完成。併せて相川、武道窪簡易水道を統合
昭和60年	8月	町営住宅「よしとみ団地」完成
昭和60年	10月	川口小学校大規模改修普通教室棟完成
昭和60年	12月	関越自動車道全線開通。川口〜東京間約2時間半に
昭和61年	3月	川口町史発行(編集作業57年4月着手)
昭和61年	10月	東部簡易水道改良(配水池・配水管等)完成。名称を「中央簡易水道」に改称
昭和61年	10月	新潟建設労働者研修福祉センター「サン・ローラ川口」完成
昭和62年	7月	川口小学校屋内運動場新築(体育館・食堂)
昭和62年	12月	町制施行30周年・ふるさと友好都市(東京都柏江市)提携記念式典挙行
昭和63年	4月	町の木に「さくら」、町の花に「芝さくら」が決まる。木沢地区に陶芸窯、地元粘土で木沢焼誕生
昭和63年	10月	田麦山地区に路線バスの試行運行開始
昭和63年	11月	和南津橋に水道管を添架、中央簡易水道に和南津簡易水道を統合
昭和63年	4月	越後川口ふるさと友の会発足
昭和63年	5月	田麦山地区に路線バス本運行開始
昭和63年	6月	新川口町総合計画策定
昭和63年	7月	柏江市と「災害時における相互援助に関する協定」を締結
昭和63年	8月	荒屋遺跡第2次発掘調査
昭和63年	9月	川口郵便局舎新築完成
昭和63年	12月	中央簡易水道天納地区拡張、給水開始
昭和63年	3月	県営住宅「あかさか団地」完成
昭和63年	4月	ファミリーゴルフ場、オートキャンプ場が完成
昭和63年	5月	手づくりの郷土史「田麦山村史」発刊
昭和63年	8月	荒屋遺跡第3次発掘調査
昭和63年	10月	中央簡易水道牛ヶ島地区拡張事業完成
昭和63年	10月	滞在型家族旅行村「キャンパス川口」開村式
昭和63年	9月	中央簡易水道八郎場地区拡張・給水開始
昭和63年	12月	主要地方道小千谷川口大和線「新木沢トンネル」完成
昭和63年	3月	西川口保育園移転新築
昭和63年	4月	役場田麦山支所を廃止
昭和63年	11月	資源ごみの分別収集を開始
平成元年	1月	高齢者生活福祉センター「ぬくもり荘」完成



合併について意思を問う住民投票の開票 (平成 19年)



中越大震災発生、住民は避難し不安な一夜を明かした (平成 16年)



温泉掘削に成功、温泉の分析作業 (平成 8年)

平成 17年	平成 17年		平成 16年		平成 15年		平成 14年		平成 17年		平成 19年		平成 18年		平成 17年																																																																																																										
6月	3月	2月	11月	10月	9月	7月	4月	3月	2月	9月	8月	7月	4月	3月	11月	10月	9月	7月	4月	3月	11月	10月	9月	7月																																																																																																	
川口町次世代育成支援行動計画を策定 (2・1) 災害救助法適用		川口町震災復興対策本部設置 (2・1)		横雪が4mを超える豪雪に、豪雪対策本部を設置		天皇・皇后両陛下が来町し、被災者をお見舞い (11・6)		小高地区住民が集団移転を要望		新潟県中越大地震発生。観測史上初となる震度7を記録し、全戸に避難勧告を発令。同日午後7時に川口町災害対策本部を設置。激甚災害に指定された。(10・23)		西倉ライスセンター竣工 (9・8)		梅雨前線豪雨水害発生。被害箇所370件 (7・16、17)		川口町交流物産館「あぐりの里」オープン (7・2)		川口町交差排水施設「サン・ローラ川口新館」完成		田麦山農業集落排水施設一部供用開始		田麦山農業集落排水施設「サン・ローラ川口新館」完成		川口公民館(生涯学習センター)完成		町営住宅「しみず団地」完成		東山遊歩道、句碑の道が中部北陸自然歩道に指定される		川口中学校大規模改造「普通教室棟」完成		木沢簡易水道完成、給水開始。町民皆水道を達成		温泉開発に成功 (55・4度、毎分409ℓ湧出)		防災行政無線完成、4月運用開始		公共下水道東川口地区、西川口地区の一部供用開始		県営農免農道新規採択、牛ヶ島渡船場に農道橋の建設決まる		長岡地域広域市町村圏(関係13市町村)災害時相互応援協定締結		川口温泉浴場完成(簡易施設)		川口橋架換事業法線が決定		町営住宅「大島団地」1号棟完成、入居開始		公共下水道第一期施行区域工事完成(川岸地区の一部を除く)		川口橋架換事業に伴う住宅用地造成事業着工		都市計画法に基づく都市計画区域の指定を受ける		上川揚水機場完成(一部)、運転を開始(上川土地改良区)		歴史民俗資料館完成、一般公開開始		川口温泉施設が完成、オープン		町制施行40周年、狛江市とのふるさと友好都市提携10周年記念式典(兼総合竣工式)を挙げる		在宅介護支援センター(現地域包括支援センター)が完成、業務を開始		町営バス試行運行始まる(10月1日から本格運行)		町民憲章、シンボルマークを制定		株式会社えちご川口農業振興公社を設立		かわぐちまちエンゼルプラン策定		櫻井徳太郎氏(和南津出身、元駒沢大学学長)に初代名譽町民の称号を贈る		町図書館に「櫻井徳太郎文庫」を設置		障害者福祉支援制度開始		農村体験宿泊施設(古民家)完成、オープン (7・5)		総合交流拠点施設(本館棟)完成、オープン (7・19)		新川口橋右岸側橋台工事に着手		住民基本台帳ネットワーク2次サービスがスタート (8・25)		公共下水道中山、天納地区の一部供用開始 (9・1)		牛ヶ島橋(仮称)橋脚(5基)工事に着手		荒屋遺跡が国史跡に指定される (11・21)		公共下水道中山地区の一部で供給開始。下水道の普及率が94%超に (3・31)		上川保育園、田麦山保育園を閉園、東川口保育園に統合		木沢小学校閉校。125年の歴史に幕。川口小学校へ統合 (3・31)		旧上川保育園が子育て支援センターとしてオープン		東川口環状線の整備に着手		町消防団の第6分団(木沢・峠)が第1分団(東川口)に統合し5分団体制に		川口町交流物産館「あぐりの里」オープン (7・2)		梅雨前線豪雨水害発生。被害箇所370件 (7・16、17)		西倉ライスセンター竣工 (9・8)		新潟県中越大地震発生。観測史上初となる震度7を記録し、全戸に避難勧告を発令。同日午後7時に川口町災害対策本部を設置。激甚災害に指定された。(10・23)		小高地区住民が集団移転を要望		横雪が4mを超える豪雪に、豪雪対策本部を設置		川口町震災復興対策本部設置 (2・1)		川口町次世代育成支援行動計画を策定 (2・1) 災害救助法適用	



新木沢トンネル開通式 (平成 3年)



56豪雪 (昭和 56年)



旧役場庁舎内の窓口 (昭和 53年)

平成 9年	平成 8年	平成 7年	平成 6年	平成 5年	平成 9年	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 17年	平成 18年	平成 19年																																																																																																
11月	9月	8月	6月	4月	3月	10月	9月	6月	5月	3月	12月	11月	10月	9月	7月	4月	3月	12月	11月	10月	9月	7月	4月	3月	12月	11月																																																																																			
川口公民館(生涯学習センター)完成		町営住宅「しみず団地」完成		田麦山農業集落排水施設一部供用開始		田麦山農業集落排水施設「サン・ローラ川口新館」完成		川口消流雪用水導入施設「サン・アントリア」完成		農業集落排水施設「田麦山地区」完成		屋内ゲートボール場「すばく川口」完成		第3次川口町総合計画策定		東山遊歩道、句碑の道が中部北陸自然歩道に指定される		川口中学校大規模改造「普通教室棟」完成		木沢簡易水道完成、給水開始。町民皆水道を達成		温泉開発に成功 (55・4度、毎分409ℓ湧出)		防災行政無線完成、4月運用開始		公共下水道東川口地区、西川口地区の一部供用開始		県営農免農道新規採択、牛ヶ島渡船場に農道橋の建設決まる		長岡地域広域市町村圏(関係13市町村)災害時相互応援協定締結		川口温泉浴場完成(簡易施設)		川口橋架換事業法線が決定		町営住宅「大島団地」1号棟完成、入居開始		公共下水道第一期施行区域工事完成(川岸地区の一部を除く)		川口橋架換事業に伴う住宅用地造成事業着工		都市計画法に基づく都市計画区域の指定を受ける		上川揚水機場完成(一部)、運転を開始(上川土地改良区)		歴史民俗資料館完成、一般公開開始		川口温泉施設が完成、オープン		町制施行40周年、狛江市とのふるさと友好都市提携10周年記念式典(兼総合竣工式)を挙げる		在宅介護支援センター(現地域包括支援センター)が完成、業務を開始		町営バス試行運行始まる(10月1日から本格運行)		町民憲章、シンボルマークを制定		株式会社えちご川口農業振興公社を設立		かわぐちまちエンゼルプラン策定		櫻井徳太郎氏(和南津出身、元駒沢大学学長)に初代名譽町民の称号を贈る		町図書館に「櫻井徳太郎文庫」を設置		障害者福祉支援制度開始		農村体験宿泊施設(古民家)完成、オープン (7・5)		総合交流拠点施設(本館棟)完成、オープン (7・19)		新川口橋右岸側橋台工事に着手		住民基本台帳ネットワーク2次サービスがスタート (8・25)		公共下水道中山、天納地区の一部供用開始 (9・1)		牛ヶ島橋(仮称)橋脚(5基)工事に着手		荒屋遺跡が国史跡に指定される (11・21)		公共下水道中山地区の一部で供給開始。下水道の普及率が94%超に (3・31)		上川保育園、田麦山保育園を閉園、東川口保育園に統合		木沢小学校閉校。125年の歴史に幕。川口小学校へ統合 (3・31)		旧上川保育園が子育て支援センターとしてオープン		東川口環状線の整備に着手		町消防団の第6分団(木沢・峠)が第1分団(東川口)に統合し5分団体制に		川口町交流物産館「あぐりの里」オープン (7・2)		梅雨前線豪雨水害発生。被害箇所370件 (7・16、17)		西倉ライスセンター竣工 (9・8)		新潟県中越大地震発生。観測史上初となる震度7を記録し、全戸に避難勧告を発令。同日午後7時に川口町災害対策本部を設置。激甚災害に指定された。(10・23)		小高地区住民が集団移転を要望		横雪が4mを超える豪雪に、豪雪対策本部を設置		川口町震災復興対策本部設置 (2・1)		川口町次世代育成支援行動計画を策定 (2・1) 災害救助法適用	

中越大震災義援金

第4次配分を実施

今回は集落配分に

町では震災3周年を迎える前に義援金の早期配分を行い、有効に活用してもらうため、町義援金配分委員会を開催、配分計画の審議を行いました。
今回の配分では、集落コミュニティ支援のため「集落配分」とし、各大字の会計口座に振り込みました。使い道は各地区に任せられます。全国からの温かいお気持ちです。地区の復興に有意義にお役立てください。

第4次配分計画の概要

Table with 2 columns: 均等割 (1大字に対し50,000円), 人数加算 (人数1人につき7,000円を加算)

(人数加算は7月1日現在の住民基本台帳の登録数。外国人登録者数は加算し、仮設住宅入居者は再建予定先に加算。)

各地区への配分額 (単位:円)

Table with 4 columns: 大字, 金額, 大字, 金額. Lists regions like 和南津, 相川, 中道, etc.

上記金額を7月31日に各会計口座に振込みました。これにより、義援金の配分留保額は約1,880万円になります。なお、義援金については各地区で用途を決めていただくものであり、町で用途を指定するものではありません。

新潟県中越沖地震

義援金を受け付けています

新潟県、日本赤十字社新潟県支部及び新潟県共同募金会では、今回の地震により被災された方々に対するお見舞いとして寄せられる義援金を受け付けます。
この義援金は、県等で構成される義援金配分委員会により公平に配分が決定され、被災された方々に届けられます。

銀行振込の振込口座 (手数料無料)

Table with 3 columns: 金融機関名, 口座番号, 口座名. Lists banks like 第四銀行, 北越銀行, etc.

※その他県内主要銀行にて振り込みできます。

郵便振替の振替口座 (手数料無料)

Table with 2 columns: 口座番号 (00580-3-7), 口座名 (新潟県災害対策本部)

受付期間: 平成20年1月16日(水)まで
受付方法: 義援金取扱口座へお振り込みください。
なお、町では中越沖地震の募金箱を各施設に設置しましたので、ご協力をお願いします。
募金箱設置場所: 役場・生涯学習センター・えちご川口温泉・あぐりの里

新潟県中越沖地震における固定資産の被害調査

新潟県中越沖地震によって固定資産(土地・家屋・償却資産)に被害を受けられた方は確認調査に伺いますので、8月10日(金)までに役場税務会計課までお申し出ください。
問い合わせ: 税務会計課 ☎89-4414

能登半島地震募金結果

町内の施設(役場・生涯学習センター・末広荘)に設置した能登半島地震の募金は6月末日で締め切りました。この募金の総額は1万9千898円で、全額を被災地の石川県穴水町に贈りました。皆さんからの協力ありがとうございました。
問い合わせ: 総務課 ☎89-3111

10月1日から

緊急地震速報スタート

緊急地震速報の情報が提供開始に

気象庁は「緊急地震速報」を10月1日から一般向けに提供開始します。これは、地震の初期微動(P波)をキャッチし、強い揺れ(主要動・S波)が始まる数秒〜数十秒前に素早くお知らせするものです。

揺れの前に地域名をお知らせ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)の地域の名前を、揺れが来る前にお知らせするものです。

当面はNHK(日本放送協会)が、テレビ・ラジオで情報の提供を行うこととしています。民放各局でも情報の提供を検討しています。

また、一部の携帯電話会社では携帯電話への配信も計画されています。

速報では、速やかな情報提供を目的としているため、強い揺れが予想される地域名のみが発表です。今までの実験では「震度階級で1前後」の

誤差があります。

また、震源に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

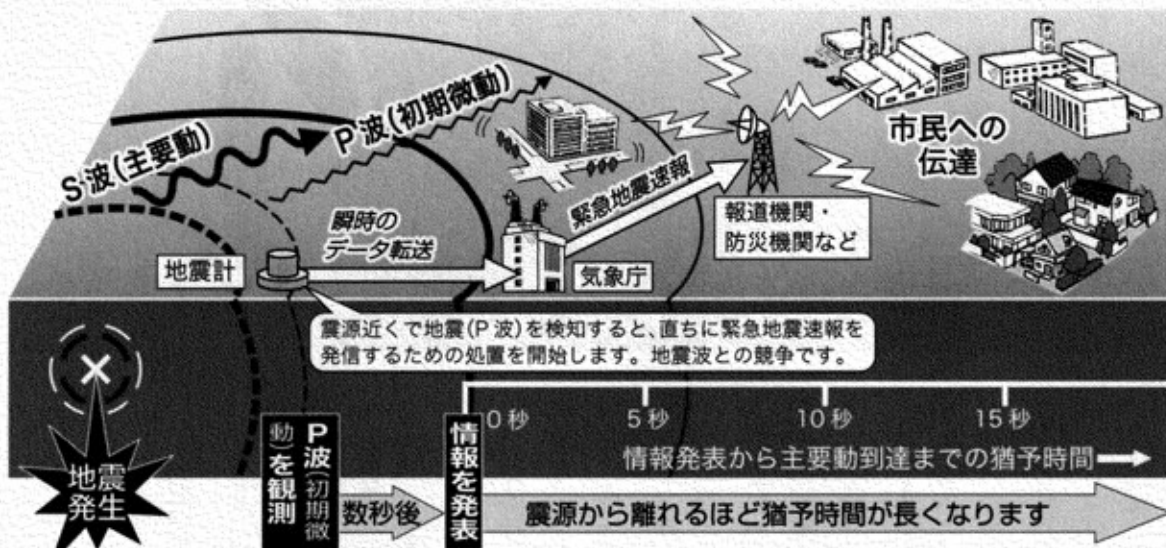
地震速報を確認したら慌てず安全な場所へ

緊急地震速報を見聞きした際には、慌てず落ち着いて行動することが基本です。

家の中では、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れましょう。

スーパリーや映画館等の集客施設では、慌てて出口や階段に殺到しないで職員の指示に従いましょう。

緊急地震速報のしくみ



- 「緊急地震速報」は、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します
地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒〜数十秒前に、素早くお知らせします
○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります

中越沖地震により被災された方の電気料金の免除等のお知らせ

中越沖地震で被災された方(川口町も対象)は申し出により電気料金を次のように免除します。

- 電気料金の早収期間及び支払期限の延伸
平成19年6月分(早収期限日)が7月16日以降となるものに限る。7・8月分の電気料金の早収期間と支払期限をそれぞれ1カ月延長します。
○不使用月の電気料金の免除
被災時から全く電気を使用しない場合、6カ月間に限り、不使用料金は申し受けません。
○工事費負担金の免除
被災前と同じ契約内容で平成20年1月末日までに電気の使用を申し込んだ場合、工事費負担金は申し受けません。
○臨時工事費の免除
平成20年1月末日までに臨時電灯又は臨時電力の使用を申し込んだ場合、臨時工事費は申し受けません。

このほか、詳細は東北電力コールセンターにお問い合わせください。
東北電力コールセンター ☎0120-1175-466



元気いっぱい 子供みこし



勇壮 武者行列



上棟式



「大樹 TAIKI」、 「花&フェノミナン」 のライブ



中越



ミストドラゴン試乗体験



木工教室



中越沖地震の 募金箱を設置



石投げ甚句



子供棒おどり



あおり太鼓



華やか 女みこし



笑顔集う夏がきた

7月28日と翌29日の2日間にわたり、「川口まつり」が行われました。今回は中越沖地震の被災者支援のため、まつり会場に募金箱を設置し、募金を呼びかけました。なお、まつり本部に設置された募金箱には1万5千592円の募金がありました。

28日、祝砲とともに「川口まつり」は始まりました。アコースティック・ギターリスト大樹と花&フェノミナンによる復興ライブで、まつり会場は熱気に包まれました。大花火大会では、多彩な花火で幕を開け、静岡県三ヶ日町の皆さんが伝統花火「手筒花火」を披露。最後には「未来と力強さ」をテーマにした復興祈念・町民号「エピセータ（震災）」が昨年に続き打ち上げられました。未来を感じさせる音楽とともに色鮮やかな花火が次々と夜空を飾り、豪快な花火が空いっぱい広がると、大きな歓声が沸きました。

2日目（29日）は、元気いっぱいの子供みこしや華やかな女みこしが町内を練り歩き、観客を魅了。多くの人で賑わったお祭り広場では、よさこいや各小学校の児童たちが伝統芸能などを発表しました。また建築組合の皆さんによる木工教室では、親子がイスやプランターづくりに挑戦、上棟式の福餅まきでは様々な景品をまき、参加者を喜ばせました。

勇壮な武者行列の後、まつり会場で来場者全員が勝どきをあげ、今年の川口まつりは終わりを告げました。

みんなが安心して暮らせる町を目指して

町地域活動支援センターの活動を紹介します

町では、障害者自立支援法に基づき、障害者の皆さんに
①地域との交流の場の提供②社会との交流促進・機会の提
供③障害者やそのご家族等のニーズに応じた取り組みな
ど、サービスを提供する場として「川口町地域活動支援セ
ンター」を開設しています。

主なプログラムと活動

家から外に出て、お茶を飲
みながらのんびり過ごした
り、いろいろな人とお話をし
たり自分の目的に合わせた利
用ができます。

月曜日は「ちよつとよらん
会」木曜日は「なあくんに
もしい会」というユニークな
会があります。気軽に立ち
寄りください。

開所日、開始時間等は、プ
ログラムによって異なります
ので、利用に合わせてご確
認ください。

場 所 末広荘
実施日 毎週月曜、木曜日
時間 13時～15時

「なんかする会」

「なあくんにもしない会」
に対抗して、何かやってみ
たい、作ってみたい：調理や
創作活動など、利用者の皆
さんの発案でいろいろなこ
とをやってみる活動的な会
です。

実施日 木曜日(随時)
時間 10時～12時

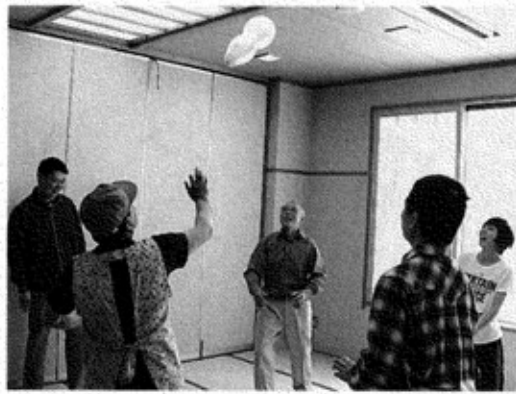


短冊に願い事を書いて七夕飾りを作りました

「くらのびのび」

知的障害者の方を対象に、
レクリエーションや創作活
動を取り入れた活動を行っ
ています。体操やゲームから
簡単な調理までいろいろな
体験ができるように工夫し
ています。

実施日 毎月一回 月曜日
時間 10時～12時30分
参加費 200円(昼食代)



つつい夢中に、風船バレーボール!

「なあくんとなく ボランティアの会」

地域で行われている活動に
ボランティアとして参加し、
地域の方たちとの交流、社
会体験を積む機会としてい
ます。

○くらのびのびボランティア
の会
くらのびのびの昼食を参
加者が一緒に作る会です。



「くらのびのび」の参加者と
一緒に合同昼食会



今日のメニューはリクエストの
夏野菜カレー

○ふれあいボランティアの会
4月から毎月開催されてい
る「ふれあい市」のイベント
にボランティアとして参加し
ています。



水ヨーヨーの担当初めてだったけど
楽しかった〜♪

町障害福祉計画の基本理念
でもある「みんなが安心して
暮らせる」、「みんなが輝け
る」、「みんながつながる」町
づくりをそった取り組みのひ
とつとして、町地域活動支援
センター事業を充実させ、川
口町独自の障害福祉サービ
スを提供していきます。

問い合わせ

福祉保健課 ☎89-4419
末広荘 ☎89-2359
地域活動支援センター(末
広荘内) ☎89-4811

暑い夏を乗り切れ!



夏バテ 防止の コツ

毎年くる日本特有の蒸し暑い夏。夏バテや熱中
症など、さまざまな体調不良が見られる季節です。
「夏バテ」を防止するコツを紹介します。

夏バテとは

食欲がなくなり、身体がだ
るく、何もする気がおこら
ないといった状態です。高温で
湿度の高い状況に長時間い
ると、重症となり「熱中症」と
いう病気にも繋がります。病
院での治療が必要となる前に
予防に努めましょう。

夏バテはどうして起るの

暑さで、体の中の水分調整
がうまくできなくなることが
主な原因で、発汗により放出
される体内の水分などの量
が、吸収される量より多くな
ることです。暑いと消化器官
の機能が低下し、栄養素が不
足しがちになります。それに
より食欲がなくなり、また暑
さによる睡眠不足も大きな影
響があります。

夏バテにならないために!

○まずは、水分補給

こまめな水分補給をしま
しょう。しかし、冷たい物を
一気に取ると、胃にたまるだ
けで、大切な胃酸が薄くな
り、食欲低下に繋がります。
冷たい物より、体温に近い飲
み物の方が吸収しやすくなっ
ています。

○旬のものを食べる

夏場は体内のミネラルが汗
で失われてしまい、食欲も落
ち、そうめんだけなどのかた
よった食事が多くなり、ビタ
ミン不足にもなります。ビタ
ミン・ミネラルを豊富に含む
旬の野菜をしっかり食べるこ
とが、夏バテ防止のコツで
す。

消化機能を整える「オクラ」

や「スイカ」、免疫力を高め
るビタミンAの豊富な「ピー
マン」や「かぼちゃ」、胃液
の分泌を促進する「トマト」
など夏の産物は夏バテ防止の
力を兼ね備えています。
食欲が落ちた時には酸味の
ものを食ってください。食欲
中枢を刺激し、胃液の分泌を
活発にします。また、香味野
菜も食欲増進に効果的で、疲
労回復にも役立ちます。

○睡眠をとる

睡眠は、夏バテだけではな
く、心身ともに大切なこと
です。また、クーラーをつけ
ばなして寝たりすると、体
に負担がかかります。睡眠は
できません。規則正しい生活も
夏バテ防止のひとつです。



たくさん食べて夏バテに負けないぞ

夏バテ予防レシピ

《にがうりのごま炒め》

にがうりは夏バテ予防の代表野
菜。ビタミンCの含有量が多く、カル
シウムなどのミネラルも豊富に含
まれています。また、体内への病原
菌の侵入を監視し、阻止するナチュ
ラルキラー細胞を活性化させる働き
もあります。

★材料(2人分)と作り方★

- ①にがうり150gを縦半分に切って
種とわたを取り、薄切りにする。
- ②えび40gの殻を取り、背わたを除
いて2~3等分に切る。
- ③フライパンに油小さじ2を熱し、
にんにくのみじん切り少々とえび
を炒める。えびに火が通ったらに
がうりを入れ、しんなりするまで
炒める。塩少々とみりん小さじ1
で調味し、いりごま小さじ1を振
って全体を混ぜる。



中越地区中学校柔道大会個人戦

上村 栞里さん 優勝!



7月4日、長岡市栞尾総合体育館において、中越地区中学校柔道大会が行われ、川口中学校3年生の上村栞里さんが女子個人戦に出場し、見事に優勝しました。

また、7月27日、新潟市新津武道館で開催された県中学校総合体育大会では女子個人戦に出場し、健闘しました。

学びの里大学

ふるさと川口塾

「警女唄」の実演を開催

川口地域の風土の中での警女唄が生活にどのようなように関わってきたのか「警女唄」の実演を聴きながら楽しく学習します。どなたでも、参加できます。ぜひご来場ください。

日時 8月25日(出)

19時~21時

会場 生涯学習センター

受講料 500円(資料代)

講師

警女唄ネットワーク事務局

高橋 実さん

演奏者 横川 恵子さん

唄い手 金沢真実子さん

内容

「警女唄」の魅力について

(演奏を聴きながら)

問い合わせ 教育委員会

☎89-21119

各種大会結果(敬称略)

震災復興3周年記念

町民ゲートボール大会

(7月19日 すばいく川口)

優勝 田山山チーム

2位 和南津Bチーム

3位 西川口チーム

和南津Aチーム

町民夜間バドミントン大会

(6月4日~6月28日川口中学校)

Aクラス

1位 柳田克文・大野美奈子組

2位 桜井智樹・綱 紀子組

3位 数藤茂伸・星野雅樹組

Bクラス

1位 内藤秀郷・岩下喜栄子組

2位 平沢正信・星野 亮組

3位 佐次晋一・篠田拓也組

詐欺・悪質商法

ご注意ください

税務職員を装った

不審者にご注意を

県内において市の税務職員を装い、平成19年度の市・県民税をだまし盗る事件が発生しました。

手口としては、各家庭を訪問し、「市・県民税の1・2期分を預かります」と言って現金を受け取り、領収印を市出張所で押してもらうように指示するものでした。

職員が皆さまのお宅を訪問する場合は、必ず徴税吏員証を携帯していますので、税務職員であることを確認して

ださい。税金を受領する場合は、必ずその場で受領印を押捺した領収証書を発行します。また、税務職員が納期限前に直接訪問して税金をいただくことはありません。

また、電話で税務職員を名乗り、税金還付手続きと称して、現金自動預払い機(ATM)を操作させて振り込ませる「振り込め詐欺」も発生しています。

税務職員が電話で「税の還付」のための「ATM操作」を求めることはありません。税務職員を名乗る不審者が来たときや不審な電話があった

ときは「名乗った税務機関(国・県・市町村)」へ至急連絡してください。

問い合わせ 税務会計課 ☎89-4414

消火器の訪問販売にご注意を

最近、あたかも町又は消防署から依頼を受けたかのように

に装い、消火器を通常よりも高額で販売するという事案がありました。

今後このような事案があると思われるので、十分注意してください。現在、町や消防署では消火器の販売、斡旋はしていません。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

消防職員を募集します

平成20年度採用の小千谷地域広域事務組合消防職員を募集します。

採用予定人員 1名

申込期間

8月10日(金)~24日(金)

受付時間 8時30分~17時

提出先 小千谷市役所総務課

試験日 9月16日(日)

会場 小千谷市役所

資格

・住所 小千谷市及び川口町に住所を有する者(有することとなる者を含む)

・学歴 高校卒業以上

・年齢 昭和56年4月2日以後に生まれた者

※募集要領・申込書は小千谷市及び川口町の総務課にあります。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

原爆死没者及び戦没者の慰霊と平和祈念の黙禱にご協力を

8月6日及び8月9日に広島市及び長崎市で、被爆62周年を迎えるにあたり、原爆死没者の慰霊と平和を祈念して黙禱を行います。

また、8月15日には戦没者のご冥福と平和を祈り黙禱を行いますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

騙されません! 東川口老人クラブで悪質商法の講座を開催

7月23日、東川口老人クラブが生涯学習センターで健康と悪質商法の講座を開催しました。

悪質商法の講座では県消費生活サポーターの根津さんが、悪質商法の手口やその対処法を紹介しました。また実際の悪質商法の手口を老人クラブの皆さんが劇で実践、振り込め詐欺の対処法の歌を全員で歌うなど悪質商法への注意を呼びかけました。参加者は「悪質業者は怖い。騙されないように気をつけたい」と話していました。

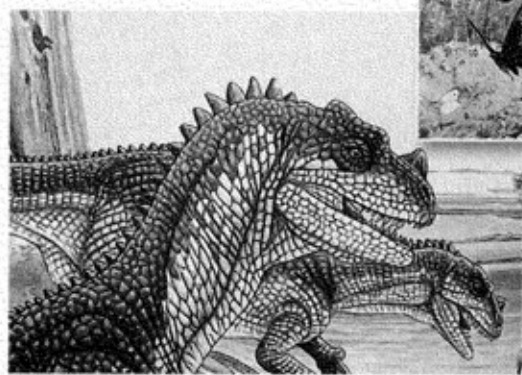


問い合わせ 総務課 ☎89-3111

実施日	黙禱開始時間	開始合図
8月6日(月)	8時15分	サイレンの合図で1分間の黙禱
8月9日(木)	11時2分	〃
8月15日(水)	12時(正午)	正午のチャイムの合図で1分間の黙禱

夏休み特別企画 松岡達英「恐竜展」と「世界の昆虫展」

松岡達英先生の描いた迫力ある恐竜と世界の貴重な昆虫の作品を展示しています。この機会にぜひご覧ください。



期間 8月31日(金)まで
会場 交流体験館「杜のかたらい」
開館時間 10時~17時
休館日 火曜日
問い合わせ 教育委員会 ☎89-21119

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください! 企画商工課 ☎ 89-3112

あぐりの里開館3周年記念大感謝祭

中越沖地震の支援を呼びかけ

7月22日、交流物産館「あぐりの里」において、あぐりの里開館3周年記念大感謝祭が開催されました。

これは平成16年7月のオープンから3年の間、あぐりの里をはじめ、生産者を応援してくれた皆さんに感謝の気持ちを伝えようとえちご川口生産者協議会が企画したものです。



▲中越沖地震の募金を呼びかけた



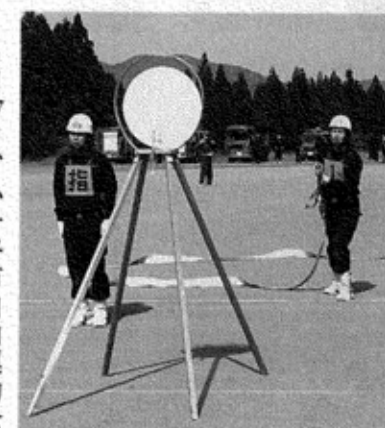
▲野菜つりは大好評

当日は500人あぐり汁の無料サービスやもちつき大会、野菜つり、西倉スイカの試食販売、料理コンテストなどのさまざまなイベントが行われ、会場はバスに乗った団体客が訪れるなど多くの客で賑わいました。

同協議会の皆さんは漬物やちまきなどを販売しながら、来場者に対し、感謝の思いを伝えました。また中越沖地震の募金を実施し、支援を呼びかけました。

消防活動の訓練成果を競う

町消防団ポンプ操法競技会で健闘!



い合い、団員の技術向上を目的に行われています。

町消防団からは、第4分団(西川口方面)の5名が小型ポンプの部に出場しました。同分団は、消防署・町消防団本部の指導のもと、分団長を中心に4月から早朝練習を行い健闘の結果、見事入賞しました。

6月17日、小千谷市白山運動公園グラウンドにおいて小千谷市・川口町・魚沼市の消防団によるポンプ操法競技会が開催されました。

この大会は、ポンプ車・小型ポンプの部に分かれ、機械器具の取扱操作の安全・確実・迅速さを競

優勝目指して熱戦!

震災復興3周年祈念 町民ゲートボール大会

7月19日にすばやく川口において、震災復興3周年祈念町民ゲートボール大会が開催されました。

町議会チームも参加し、9チームで優勝をめざして熱戦を展開。田麦山チームが見事なチームワークで優勝しました。

(詳しい結果は14ページです。)



元気です!かわぐちっこ ⑫

山崎 ^{そら}空 ちゃん (西倉・2歳)

おとうさん 茂典さん おかあさん 奈緒さん



恐竜が好きな空くん、恐竜博に行ったら恐竜のおもちゃや図鑑を見ながらガオーガオーと言って遊んでいます。散歩で近所の池の鯉にエサをあげたり、田んぼでカエルを見たりすることが楽しみです。昆虫が好きな空くんはアリをつかんだり、トンボを追いかけて、毎日元気に外を駆け回っています。

俳句 (6月) 大内迪子先生選入選句

土が好き作る事が好き茄子植える
薫風や地震耐へ抜きし古き家
亡き夫の古里指して祭笛
衣更へてさして用もなき街へ
薬紙の卒業名簿曝しけり
皺深き母の手をとり菖蒲見る
母の日や今年も届き好きな花
走り梅雨低きに舞ひし鶯かな
筵干薇選りつつ採み返し
引越しの跡地に咲きし白牡丹
夕風に甘く香ふる朴の花
音もなく牡丹の花崩れけり
登り来て薫風に身を委ねけり
郭公の声澄み渡る牧場かな
万緑の精をもらひて老を生く

岡村佐和子
石坂 シゲ
喜多村キヨ
鈴木 良仙
中沢 昭一
藤田 節子
星野 きの
丸山 好枝
三輪 京子
目黒 せつ
森山 菊江
山田 チョ
山田 久子
渡辺登子一
佐藤 信

■次会のお知らせ

8月7日(火) 生涯学習センター 13時から
*第17回町民俳句大会 10月20日(土)
自由題 3句まで 投句締切8月31日(金)

人口のうごき

19. 7. 19現在	*()内は前回からの増減	
男	2,542人	(-1)
女	2,772人	(-2)
人口計	5,314人	(-3)
世帯数	1,529世帯	(±0)

訂正とお詫び

広報かわぐちお知らせ版の裏面「くらしのこよみ(8月)」の8月14日(火)川口温泉休館日に誤りがありました。8月14日(火)は川口温泉を通常営業します。訂正してお詫びします。